

●演習ワークシート

実習日： 月 日

研修生番号：

研修生氏名：

事例 1

輸液投与速度間違い

症例：79 歳，男性

末期がんで入院している。輸液 1200mL の投与において、輸液ポンプの設定を指示の 25.3mL と入力すべきところを 253mL と 10 倍の速度を入力して投与した。指示は 48 時間の投与であったが、5 時間で投与を終了した。終了直後に患者の容態が急変し、2 日後に亡くなった。

演習課題 1

- 1) 患者が死亡した原因は何で、なんと呼ばれる現象ですか？
- 2) 投与速度に注意すべき注射薬を 5 つ選び、急速静注による副作用を考えてください。
- 3) カリウム製剤の投与時の注意点を挙げてください。

● 演習ワークシート

事例 2

アセトアミノフェンの剤形変更

症例：75 歳，女性

末期がんで入院している。がんによる疼痛緩和目的で，緩和ケア病棟に入院中，急性上気道炎で発熱していたが嚥下困難となり，カロナール錠（アセトアミノフェン）から注射薬へ変更となった。

演習課題 2

カロナール錠の処方は以下のとおりです。注射薬の投与量を考えてください。

〔処方〕 Rp：カロナール錠 500mg 頓用 1 日 2 回まで